

○事業所名	さんりんしゃ 3（児童発達支援（重心））			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 15日		～	令和7年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 10日		～	令和7年 2月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人で馬を所有しており、他ではできない体験を提供しています（乗馬療法、馬とのふれあいなど）。	当事業所では、希望される方を対象に、医師の許可を得たうえで乗馬療法を実施しています。専門スタッフが利用者一人ひとりの能力や状態に合わせ、安全に配慮しながら楽しめるプログラムを提供しています。 馬に乗らない方にも、馬とのふれあい（人参りりなど）を楽しんでいただけるような機会を提供しています。	今後も安全に気を付けながら継続していきます。
2	法人で独自の水治療棟（プール）を所有しており、年間を通して水治療が楽しめます。	毎日水を張り替え、清掃等、衛生管理に気を付けております。重症心身障害児など体温調節が難しい方でも温度調整（水温・室温）が可能な設備を整えており、安心してご利用いただけます。 それぞれの利用者の状態に合わせた支援を提供しています。	今後も安全に気を付けながら継続していきます。
3	経験豊富な多職種が連携し、支援を提供しています。	保育士、児童指導員、看護職員、リハビリ職など様々な職種が集まり、それぞれ培ってきた経験を活かしながら、チーム全体で一人ひとりにあった活動プログラムやケアを提供できていると思います。	各々自己研鑽に励みながら、チームとしてよりよい支援を行えるよう努めてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時に備えた各種マニュアルを策定し、定期的に避難訓練を実施していますが、その内容が保護者の皆様に十分に伝わっていないようです。	各種マニュアルを策定したり、定期的な訓練を実施しており、訓練日に利用されている方には参加していただき様子をお知らせしております。しかし、訓練日に利用されていない方々へはお知らせしておらず、全利用者様への発信ができておりませんでした。	現時点の発信だけでなく、皆様に知っていただけるよう、各種マニュアルや訓練の実施について案内方法を検討してまいります。
2	保護者様同士の交流やきょうだい支援等が行えていません。	交流の場や支援活動の必要性は感じているところではありますが、具体的なニーズや希望を十分に把握できていない現状があります。	保護者の皆様のニーズを伺いながら、当施設に適した形での支援を模索していきます。
3	地域交流の場を十分に設けることができておりません。	年に数回、地域への外出や散歩（お花見など）を実施していますが、現状では頻度が多いとは言えません。また、外出の際は当日の利用者様の体調や移動手段の確保などを考慮する必要がありますが、スムーズに実施することが難しい場合もあります。	地域社会への参加の第一歩として、外出の機会を増やし、公衆施設の利用や、公園など地域の方々が実際に集う場所へ向くことで、自然な交流の機会を広げていきたいと考えています。